

福井県の海藻

斎藤 岩雄

1. 海藻研究の歩み

もう40～50年も昔の話になるが、昭和の初め頃「郷土の再発見」といった言葉が盛んにいわれた。どの町や村でも、このムードの波にのって郷土誌の発行を試みた時代である。学校でも同じことであったが、特に「郷土教育」といっていた。また、事実に即した教育をするということから「事実教育」とか「事実問題」というような言葉が流行した。進歩的な学校では「郷土科」という一教科を特設して、実験的に学習を試みたところもあった。

こうした時代であったから、福井県の海藻も理科教育郷土化の旗印をかけて、盛んに海藻採集や講習会が行なわれた。記録によると、昭和2年8月1日から5日までの5日間、三国および高浜で海藻採集会が行なわれている。この時の資料は昭和5年発行の「福井県理科教育資料」に、55種採集されたことが報告されている。おそらくこの記録が本県の海藻目録としては最初のものであろう。

ついで、昭和5年8月に当時小浜水産学校（現県立小浜水産高等学校）が主催して、わが国海藻界の泰斗岡村金太郎博士を招いて、若狭湾一帯の海藻採集を行なった。これは、昭和10年8月に「福井県海藻仮目録」として、謄写ずりのものではあるが小浜水産学校で発行、この目録に記載された海藻は112種にも及んでいる。

その後も海藻採集会は盛んに行なわれた。

すなわち、

昭和10年8月	四ヶ浦小で採集会
昭和11年5月	三国中で採集会
昭和11年8月	高浜小で採集会
昭和16年4月	四ヶ浦小で採集会

などが記録に残っている。昭和2年の採集会をはじめとして、昭和16年の採集会まで、すべて当時東京水産講習所教授の東道太郎先生を講師として、本県では指導を受けていた。

2. 東道太郎先生の指導

私は昭和10年ごろから東道太郎先生に海藻をお送りして、直接の御指導を受けていた。その結果、県内海藻標本も90種余集採することができた。しかし、不幸にもそれら標本の一葉も今はない。従って、いま海藻目録を作るといつても、現物が一点もないで気が引ける。何か証拠になりそうなものがないかと思案もしたが、幸いなことに東先生からのお手紙が2～3通今も持っているので、それをここに記して、私の話も、また目録も全く仮空なものでないことを明らかにしておきたい。

その 1

「……詳細はいずれ 9月末とし、送付されたもので相分りしものは次のとおり。

緑 藻 ウスバアオノリ、ボウアオノリ、シオグサの類 2種

褐 藻 クロモ、ハバモドキ、シワヤハズ、イトアミジ、アカモク、マメダワラ、イソモク、
スキモク、ホンダワラの類数種

紅 藻 カギノリ、ムカデノリ、カタノリ、キヨウノヒモ、ブタラク、テングサ、トチャカ、
オキツノリ、クロソゾ、ミツデソゾ、ウラソゾ、イソムラサキ、フシツナギ、

Gymnogongrus japonicus その他数種」

(昭和15年7月19日付)

その 2

「……2月18日採集の海藻標本中、のりの大部分は *Porphyra preuddinearis* Ueda
ウップルイノリにこれあり候。成長したものにこれあり候。その他の分は後日申上候。またハバノ
リに酷似しているものは *Ilea fascia* (Miill) Fries セイヨウハバノリであり、これはハ
バノリより幾分小形で薄きものにこれあり候。やはり北方のものなるもマツモこれなく候や…。」

(昭和16年2月25日付)

その 3

「……自新らしきものは残念ながら見当らず候。イソムラサキこれあり候。ウスバノリの類これ
あり候も、生殖器出来おらず候故、種類分らざ候に御地にはまだ若きものこれあり候。マツモ、ヒ
ジキは御地には産せず候や。産するものならんと存ずるものの中に、まだ見ざるものこれあり候。
次にワカメ一尺くらいにて、めかぶも小形なるものにてよろしく候間、根のあるもの 20 株くらい
御採集願わしく候……。」

(昭和16年6月5日付)

その 4

「……ワカメ当地方のものは既に葉の部分枯れくさり候も、御地のものは形状も完全にて、且つ
柔かにこれあり候。食用にするものは何月に致し候や。メカブは児童が食する由、乾したるもの
を食するや、又生のものか、且つこれは普通のことか?」

ツルモの根元の方に、モズクの如きものこれあり候。モズクと異なる種類と存じ候が、区別には
成長点を見ざれば相分からず、就ては、ツルモと共に塩漬又は塩まぶしとして、水を切りたるもの
を竹筒に入れてお送り下さい。

ヒジキは一尺くらいのもの一本、褐色を呈しているものこれあり、御地にもなかなか長くなるこ
とを知り候。

ヒジキ腊葉標本、本年5月のものはイシゲにこれあり候……。」

(昭和16年6月18日付)

3. 思い出の数々

思い返すと東先生につながる私とのエピソードもいくつかある。思い出すままに記してみよう。

昭和17年頃からは食糧事情も悪化し、海藻標本よりも専ら食糧の方に変わって行き、大豆はなないか、来月は子供の誕生日なので、あづきを送ってほしい等々。といった文通の方が盛んになり、私も小包郵便にして「種子標本」とか「学術研究資料標本」とか明記して、出来る限り努力してお送り申しあげたことを記憶している。

また、こんなこと也有った。昭和16年4月のこと、東先生から、

「福井県の海藻について、特に冬の成育状況が知りたい。4月ではまだ冬の海藻もあるから、君を頼って海藻採集に行くからよろしくたのむ……。」

といった意味の手紙をいただいた。

私は東先生をひとりで独占することは、あまりにも、もったいないと判断し、当時県に「福井県博物学会」というものがあったので、早速、東先生からの私信をそえて事情を申し上げ、県主催の海藻採集会にしてほしいと頼んだ。幸いこれは実現されることになった。

ここまで経過はよかったのであるが、さてその当日になって、私は乗物の都合で午前8時四ヶ浦小学校へ集合となっていたが、私が着いたのは9時頃であった。ところが、8時から採集開始である筈なのにまだ誰も採集をしていない。

県の係の方が東先生に、

「もう8時も過ぎましたし、会員も集まっていますから、採集に出かけたいと思いますので、よろしく御指導願います。」

と申し上げたところ、

「斎藤さんがまだ来ていないではないか。私は斎藤さんを頼って採集に来たのである。」
といって、どうしても動こうとしない。係の方がホトホト困っていたという。

私が遅刻して学校へ着くと、こんな事情でまだ採集に出られず、待っていたのだという。

事情を聞いたので私は早速東先生のところへ行き、私の遅刻理由を申し上げ、かつ、今までの経過を申し上げて、おわびするやら、お願いするやら、冷汗をかきながら御機嫌をなおしていただき今から御指導いただくようお願い申し上げると、

「君が来たのだから安心して指導しましょう。」

といって直ちに行動開始となった次第である。

4. 福井県海藻目録について

昭和9年に福井県に博物学会が誕生し、この年から例年研究発表会と会報が発行されるようになった。この会報を調べてみても、海藻については東道太郎先生の「日本産一般藻類について」および「海藻の一般と腊葉標本の製作について」という講演内容が記録されているだけで、県内の海藻についての目録は残念ながら記されていない。また、現在発行されている「福井県博物同好会報」にも、それらしいものは見当らないようである。

御存知のように今では海辺の海藻も、道路や観光開発等々でその様相は一変し、昔の海岸線も今は全く変身してしまっている。かつて繁茂していた海藻も公害のため、その姿を変えている。

私が昔採集したころ、私なりに目録を試みたのであるが、昭和16年ごろに作ったもので、もう

30年も昔のものである。したがって、そんなものは全く無価値だと申されるかも知れない。しかし、そのころ県下の各小中学校の先生方が中心となって、本県の海藻について明らかにしたことは貴重な事実である。いつか、この目録を再検討してみたいと思いながらも、ついに歳月は過ぎてしまい、もう今は当時の現物はなく、その後私自身海藻を集めてもいいない。

今ふるぼけた昔の紙に書いてある海藻の目録をみると、当時のことが思い出されなつかしい。鉛筆で何やら書いてある注釈も、何のことかわからない。ともかくわかる範囲内で整理してみたが、全く調べようにも手のつけられない海藻の名もある。現物があれば何とかわかるのにと残念がりつつ……。多少なりともこの道研究者の参考となれば幸である。

前 南 越 中 学 校 長

福井県産海藻仮目録

緑 藻 類

あ お さ 科

1. <i>Ulva pertusa</i> Kjellman	アナオサ	越、若
2. <i>Enteromorpha compressa</i> Greville	ヒラアオノリ	越、若
3. <i>E. intestinalis</i> Link	ボウアオノリ	越、
4. <i>E. linza</i> J. Agardh	ウスバアオノリ	越、若

し お ぐ さ 科

5. <i>Cladophora Wrightii</i> Harveg	チャシオグサ	越、若
6. <i>C.</i> sp.	シオグサの類	越、若
7. <i>Chaetomorpha moniligera</i> Kjellman	タマジュズモ	越、
8. <i>C. spiralis</i> Okamura	フトジュズモ	若
9. <i>C. crassa</i> Kuetzing	ホソジュズモ	越、若

か さ の り 科

10. <i>Acetabularia</i> sp.	カサノリの類	若
-----------------------------	--------	---

は ね も 科

11. <i>Bryopsis plumosa</i> C. Agardh	ハネモ	越、若
---------------------------------------	-----	-----

い わ づ た 科

12. <i>Caulerpa fergusoni</i> Murray	フジノハヅタ	越
13. <i>C. okamurae</i> Web. van. Bosse	フサイワヅタ	若

み る 科

14. <i>Codium adhaerens</i> C. Agardh	ハイミル	越、若
15. <i>C. fragile</i> Suringar	ミル	越、若
16. <i>C. divaricatum</i> Holmes	クロミル	越、若

褐 藻 類

しおみどろ科

17. *Ectocarpus* sp. シオミドロの類 越、若

くろがしら科

18. *Sphaelaria* sp. クロガシラの類 若

あみじぐさ科

- | | | |
|---|---------|-----|
| 19. <i>Dictyota dichotoma</i> Lamouroux | アミジグサ | 越、若 |
| 20. <i>Pachydictyon coriaceum</i> Okamura | サンダグサ | 越、若 |
| 21. <i>Spathoglossum pacificum</i> Yendo | コモングサ | 越、 |
| 22. <i>Dictyopteris undulata</i> Holmes | シワヤハズ | 越、若 |
| 23. D. <i>divaricata</i> Okamura | エゾヤハズ | 若 |
| 24. D. <i>latiuscula</i> Okamura | ヤハズグサ | 若 |
| 25. D. <i>prolifera</i> Okamura | ヘラヤハズ | 越、若 |
| 26. <i>Zonaria diesingiana</i> J. Agardh | シマオオギ | 越、 |
| 27. <i>Padina ardorescens</i> Holmes | ウミウチワ | 越、若 |
| 28. P. <i>crassa</i> Yamada | コナウミウチワ | 越、若 |
| 29. P. <i>Japonica</i> Yamada | オキナウチワ | 越、 |

ねばりも科

30. *Leathesia difformis* Areschouy ネバリモ 越、若

ながまつも科

- | | | |
|--|-------|-----|
| 31. <i>Sphaerotrichia divaricata</i> Kylin | イシモズク | 越 |
| 32. <i>Tinocladia crassa</i> Kylin | フトモズク | 若 |
| 33. <i>Heterochordaria abielin</i> Setchell et Gardner | マツモ | 越、若 |
| 34. <i>Myriocladia Kuromo</i> Yendo | クロモ | 越、若 |
| 35. <i>Chordaria flagelliformis</i> Agardh | ナガマツモ | 越、若 |

もずく科

36. *Nemacystus decipiens* Kuckuck モズク 越、若

いしげ科

37. *Ishige Okamura* Yendo イシゲ 越

け や り も 科

38. *Sporochnus* sp ケヤリモの類 越、若

う る し ぐ さ 科

39. *Desmarestia viridis* Lamouroux ケウルシグサ 若

は ば も ど き 科

- | | | |
|--|----------|-----|
| 40. <i>Punctaria latifolia</i> Greville | ハバモドキ | 若 |
| 41. <i>Scytophion lomentarius</i> J. Agardh | カヤモノリ | 越、若 |
| 42. <i>Colpomenia sinuosa</i> Derbes et Solier | フクロノリ | 越、若 |
| 43. <i>Hydroclathrus clathratus</i> Howe | カゴメノリ | 越、若 |
| 44. <i>Endarachne binghamiae</i> J. Agardh | ハバノリ | 越、若 |
| 45. <i>Petalonia fassis</i> Kuntze | セイヨウハバノリ | 越、 |

つ る も 科

46. *Chorda filum* Lamouroux ツルモ 越、若

こ ん ぶ 科

- | | | |
|---|----------|-----|
| 47. <i>Eisenia bicyclis</i> Setchell | アラメ(カジメ) | 若 |
| 48. <i>Ecklonia stolonifera</i> Okamura | ツルアラメ | 若 |
| 49. E. Kurome Okamura | クロメ | 越、 |
| 50. <i>Undaria pinnatifida</i> Suringar | ワカメ | 越、若 |
| 51. U. peterseniana Okamura | アオワカメ | 越、 |

ほ ん だ わ ら 科

- | | | |
|---|--------|-----|
| 52. <i>Cystophyllum sisymbrioides</i> J. Agardh | ジョロモク | 越、若 |
| 53. <i>Hizikia fusiforme</i> Okamura | ヒジキ | 越、 |
| 54. <i>Sargassum pilliferum</i> C. Agardh | マメダワラ | 越、若 |
| 55. S. patens C. Agardh | ヤツマタモク | 若 |
| 56. S. horneri C. Agardh | アカモク | 越、若 |
| 57. S. serratifolium C. Agardh | ノコギリモク | 越、若 |
| 58. S. fortilla C. Agardh | ヨレモク | 越、若 |
| 59. S. ringgoldianum Harvey | オオバモク | 越、 |
| 60. S. confusum Agardh | フトスヂモク | 越、若 |
| 61. S. fulvellum C. Agardh | ホンダワラ | 越、 |
| 62. S. thunbergii Okamura | ウミトラノオ | 越、若 |

63.	S.	kjellmanianum	Yendo	ハハキモク	越、若
64.	S.	nipponicum	Yendo	タマナシモク	越、
65.	S.	hemiphyllum	C. Agardh	イソモク	越、若
66.	S.	micracanthum	Yendo	トゲモク	越、
67.	S.	nigrifolium	Yendo	ナラサモ	越、若
68.	Coccophora	langsfordii	Greville	スギモク	越、

紅藻類

うしけのり科

69.	Bangia	fuscopurpurea	Lyngbye	ウシケノリ	若
70.	Porphyra	suborbiculata	Kjellman	マルバアマノリ	若
71.	P.	pseudolinearis	Ueda	ウップルイノリ	越、
72.	P.	fenere	Kjellman	アサクサノリ	若

べにもずく科

73.	Nemalion	helminthoides	Batters	ウミヅウメン	越、若
74.	Helminthocladia	australis	Harvay	ベニモズク	若

がらがら科

75.	Scinaia	japonica	Sctchell	フサノリ	若
-----	---------	----------	----------	------	---

かぎけのり科

76.	Asparagopsis	hamifera	Okamura	カギノリ	越、
-----	--------------	----------	---------	------	----

てんぐさ科

77.	Gelidium	amansii	Lamouroux	マクサ(テングサ)	越、若
78.	Pterocladia	tenuis	Okamura	オバクサ	若

りゅうもんそう科

79.	Hyalosiphonia	caespitosa	Okamura	イソウメモドキ	若
-----	---------------	------------	---------	---------	---

なみのはな科

80.	Chondrococcus	hornemannii	Schmitz	ホソバナミノハナ	越、若
81.	C.	japonicus	Okamura	ナミノハナ	越、

さんごも科

82.	Lithophyllum	sp.		イシゴロモの類	若
-----	--------------	-----	--	---------	---

83. <i>Amphiroa echigoensis</i> Yendo	エチゴカニノテ	若
84. <i>A. dilatata</i> Lamouroux	カニノテ	若
85. <i>Corallina officinalis</i> Linne'	サンゴモ	越、若
86. <i>C. pilulifera</i> postels et Ruprecht	ピリヒバ	若

むかでのり科

87. <i>Halymenia</i> sp.	ムカデノリの類	越、若
88. <i>Grateloupia filicina</i> c. Agardh	ムカデノリ	越、若
89. <i>G. Okamurae</i> Yendo	キョウノヒモ	越、若
90. <i>G. divaricata</i> Okamura	カタノリ	越、若
91. <i>G. turuturu</i> Yendo	ツルツル	越、
92. <i>Carpopeltis flabellata</i> Okamura	コメノリ	若

ふのり科

93. <i>Gloiopeletis furcata</i> Postels et Ruprecht	フクロフノリ	越、若
94. <i>G. tenax</i> J. Agardh	マフノリ	若

ゆかり科

95. <i>Plocamium telfairiae</i> Harvey	ユカリ	若
--	-----	---

いばらのり科

96. <i>Hypnea charoides</i> Lamouroux	イバラノリ	越、若
---------------------------------------	-------	-----

おごのり科

97. <i>Gracilaria verrucosa</i> Papenfuss	オゴノリ	若
98. <i>G. bursapastens</i> Silva	シラモ	若
99. <i>G. texlorii</i> Suringer	カバノリ	若

おきつのり科

100. <i>Gymnogongrus flabelliformis</i> Harvey	オキツノリ	越、若
101. <i>Ahnfeltia concinna</i> J. Agardh	サイミ	若
102. <i>A. paradoxa</i> Okamura	ハリガネ	若

すぎのり科

103. <i>Gigartina tenella</i> Harvey	スギノリ	若
104. <i>Chondrus ocellatus</i> Holmes	ツノマタ	越、若

105. C. canaliculatus Okamura トチャカ 越、若

だるす科

106. Chrysomenia Wrightii Yamada タオヤギソウ 若

わつなぎそう科

107. Lomentaria catenata Harvey フシツナギ 若

108. Champia parvula J. Agardh ワツナギソウ 越、若

ハギス科

109. Spyridia filamentosa Harvey ウブケグサ 若

110. Ceramium japonicum Okamura ハネイギス 若

111. C. boydenii Gepp アミクサ 若

112. Campylasphora hypnaeoides J. Agardh エゴノリ 越、若

113. Centroceres clavulatum Montagen トゲイギス 越、若

114. Ceramium Kondoi Nakamura イギス 若

このはのり科

115. Acrosorium uncinatum Kylin カギウスノリ 越、若

だじあ科

116. Heterosiphonia pulchra Falkenberg シマダシア 若

ふじまつも科

117. Polysiphonia morrowii Harvey モロイトグサ 越、若

118. P. japonica Harvey キブリイトグサ 若

119. Chondria dasypylla C. Agardh ヤナギノリ 若

120. C. crassicaulis Harvey ユナ 越、若

121. Laurencia intermedia Yamada クロソゾ 越、

122. L. glandulifera Kützing オオソゾ 越、若

123. L. Okamurai Yamada ミツデソゾ 若

124. L. pinnata Yamada ハネソゾ 若

125. Symphyocladia marchantioides Folkenberg コザネモ 若

126. S. latiuscula Yamada イソムラサキ 越、若

127. Leveilla jungermannioides Harvey ジャバラノリ 越、若

前南越中学校長